寄り添い　伸ばす

荒川区立原中学校
学校だより

12月号

令和４年 12 月１日

荒川区立原中学校

校長 水井　雅史

原中読書週間

荒川区立原中学校副校長　千葉　　貴

立冬を過ぎ日増しに寒くなってきました。

この冬は新型コロナウイルスの感染に加えてインフルエンザの流行も心配されています。本校では引き続き、感染症予防対策を行い、感染拡大防止に努めてまいります。

さて、５月学校だよりの巻頭言で触れましたが、本区では学校図書館の充実を重要な施策の一つとして掲げています。

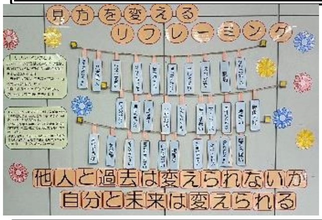
これを受け本校では図書館利用の促進や生徒の読書活動の充実のために、図書委員会の生徒が中心となり様々な取組を行っています。その一環として 11 月 28 日から 12 月９日までの「読書週間」がスタートしました。このイベントとして【本の福袋】や【先生のおすすめ本】、【ビブリオバトル】があります。これらの生徒が主体となった取組みにより、昨年度の 11 月までの本の貸出冊数と本年度の 11 月末現在の貸出冊数を比較すると 1.23 倍となっています。また、一人当たりの平均貸出冊数も、昨年度 8.06 冊だったのに対して、本年度は 10 冊を超えるペースとなっています。数値的に見ても生徒がより多くの本を手に取っていることがわかります。

こうしたことを受けて、全校朝礼で「受験勉強で大変でも一日 30 分は、読書で頭をリフレッシュしてください」と３年生に伝えました。読書はたくさんの成長や気づきを与えてくれます。時には本の中の主人公が人生を支えてくれることもあります。読書を通じて生徒一人一人の素敵な感性をさらに輝かせてほしいと願っています。

２学期もあとひと月を残すところとなりました。生徒は静かな学習環境の中で充実した学校生活を送ることができています。振り返ると、文化祭の立派な姿を思い浮かべることができ、改めて、素晴らしい学校であることを実感しています。

最後になりましたが、保護者・地域の皆様には温かいご支援ご協力をいただき、本学期を終えることができます。心より感謝申し上げるとともに、新年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

他人と過去は変えられないが　自分と未来は変えられる　保健室掲示板からのメッセージ



保健室に自分の「見方を変えるリフレーミング」と題して生徒へのメッセージが掲示されています。それぞれの性格も見方を変えると、良さがいっぱいあります。素敵な自分に気付き元気を出そうと発信しています。例えば、「消極的な」は落ち着いてコツコツやる。「こだわる」は大切なものをもっている。「気分屋」は感受性が豊か。「マイペース」は自分の世界をもっている。一人一人の心が温かくなりますように！

スポーツ用車いすについて学ぶ　「あらかわ区報 Jr　11.16 号」で紹介されました！

生徒会役員４名が都立大荒川キャンパスでジュニア記者として、スポーツ用の車いす体験をし、区報 Jr で紹介されました。

車いすの種類は、バスケ用、テニス用、レース用、生活用があり、それぞれ試乗し乗り比べてみました。

段差を越えることの難しさや、様々な危険性がある一方、安全性に特別な配慮がされていることも分かりました。

また、競技用の車いすは限りなく選手をサポートする構造になっています。しかし、実際に乗ってみて、身体の一部として操る選手の卓越した身体能力と努力があることを実感しました。

体験をとおした生徒それぞれの素直な感想が紹介されています。

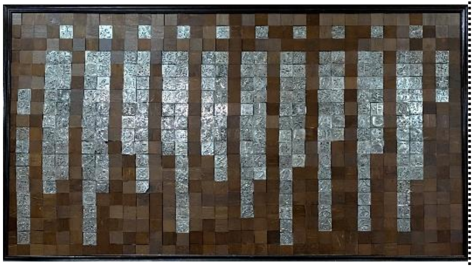
ぜひ、お読みいただければ幸いです。

原中生の素晴らしさ㉕　「オブジェ」に残されたメッセージ

このシリーズも２５回を迎えました。
お読みいただいた皆様に感謝申し上げます。

　１階玄関のフロアーの壁面にこんなオブジェがあるのを御存じですか。３０年前の新校舎建設の際に埋め込まれたものです。当時、誰がどのような目的で製作したのでしょうか。当時の記録が残っていないので分かりません。
　少なくとも設計者や工事関係者が既製品をもってきたものではないと考えられます。そうだとすると尾竹橋中学校で新校舎の完成を待っていた生徒が美術科の先生の指導を受け製作した可能性が浮かんできます。
　目を凝らしてみると古代の紋様が描かれた焼き物です。壁面の青いタイルを大海に見立て、そこを泳ぐ魚をモチーフに作られています。新校舎で生徒が大きな夢をもち成長してほしいとの願いが作品から読み取れます。開校３０年が２年後となってきた今、建設当時の先人の思いを改めて考えてみたいものです。

『命を大切に　母の愛　』
　２階フローに子供を抱く母の像が設置されています。尾竹橋中の臨海学校で生徒を亡くした悲しみを二度と繰り返さないため、当時の保護者から寄贈されたものです。原中開校１０周年記念行事としてここに設置されました。原中の心の原点がここにあります。



受け継がれてきた『勉強十戒』
　統合した２校から、学ぶことのメッセージを受け継ぎました。卒業生製作として残されていたものです。この戒めをこれからも大切にしていきます。

１学習の計画を立てよう。計画のないところに成功はない。
２精神を集中しよう。集中の度合が理解の度合である。
３ムダをなくそう。戦略の第一は時間配分にある。
４勉強法を工夫しよう。工夫なき勉強に能率の向上はない。
５自己のペースを守ろう。他をみればスピードはおちる。
６断じて中途でやめるな。中断はゼロである。
７ 成功者の言に耳をかたむけよう。暗夜を照らす灯だ。
８現状に対し臆病になるな。逃避は敗北である。
９失敗を謙虚に反省しよう。向上へのクッションがそこにある。
１０大胆にして細心であれ。小心と粗放に勝利はない。

１２月行事予定

1	木		5	16	金	校外学習（１年）	
2	金			17	土		
3	土			18	日		
4	日			19	月	朝礼　避難訓練	
5	月	朝礼　三者面談①　（区学力向上のための意識調査始）	B5	20	火	中央委員会　（第１回文化祭展示委員会）	
6	火	三者面談②	B5	21	水	てらこや	
7	水		B5	22	木	給食終　大掃除	5
8	木	三者面談③	B5	23	金	終業式	
9	金	三者面談④　読書週間終	B5	24	土		
10	土			25	日		
11	日			26	月	冬季休業日始	
12	月	朝礼 三者面談⑤ 安全指導　（卒業アルバム撮影３年）	B5	27	火		
13	火	各種委員会	B6	28	水		
14	水	てらこや		29	木		
15	木	入試相談開始		30	金		
				31	土		

◎ホームページに、学校だよりを掲載しています。ぜひご覧ください。